

「火種のような人」

土光敏夫

私たちは、ごくわずかだが、「火種のような人」がいることを知っている。

自ら、カッカッと火を発し燃えている人だ。

その人のそばにいと、火花がふりかかり、熱気が伝わってくるような感じを受ける。

実は、職場や仕事をグイグイ引っぱっているのは、そんな人だ。

そうして、まわりの人たちに、火をつけ燃え上がらせているのも、そんな人だ。

しかし、誰にも皆、火種はある。

必ずある。

他の人から、もらい火するようではなさない。

自分の火種には、自分で火をつけて燃え上がらせよう。

「土光敏夫 信念の言葉」PHP研究所（抜粋）